

学校教育目標	人間性豊かで、知性にあふれ、心身ともにたくましい実践力のある生徒の育成
育成を目指す資質・能力	学習習慣の確立と学力・体力の向上

	学力状況について	学習状況について
児童生徒の課題	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 ○各教科、観点別・領域別で、ほとんどの項目が県の平均値と目標値を上回っているが、中にはそれぞれを下回る領域も見られる。	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 ○分からないことがあっても、友達に聞くことが多く、教師に質問することが少ない。 ○授業と家庭学習が効果的につながっていない傾向が見られる。
	これまでの学力向上の取組に対する児童生徒の状況(授業及び授業以外の側面から) ○授業の流れを掲示し、今何をしているのか、次にどんなことをするのかをはっきりすることで、意欲的に授業に取り組むことができている。 ○「めあて」と「振り返り」、「課題」と「まとめ」を意識させることで、一時間で何を学んだのかをはっきり自覚できるようになった。 ○「生徒による授業評価」を行うことで、生徒が教師とともに授業改善を行っているという実感をもつことができている。	
指導の状況	1 組織的な授業改善の取組状況 ○「めあて→振り返り」「課題→まとめ」を明確にした授業展開100% ○「UDL」を意識した授業展開100% ○キーワードを活用した説明活動の実施100% ○「学習態度プロジェクト」での学習規律達成率90パーセント以上(生徒会) 2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況 ○学校研究「ICT機器の有効活用」との連携	

学力に関する達成指標

- 「進んで授業を受けている生徒」90パーセント以上
- 「話す・聴く・伝える」活動が楽しいと感じる生徒90パーセント以上
- ICT機器を使った、分かりやすい授業をしていると感じる生徒90パーセント以上
- 「めあて」が達成でき、「課題」が解決できるように取り組んでいる生徒90パーセント以上
- 「まとめ」や「振り返り」で再確認でき、理解を深められている生徒90パーセント以上

今後の具体的な取組	【授業改善】	【家庭・地域との協働】
	〈授業改善のテーマ・重点〉 生徒にとって安心できる授業展開～説明活動の充実～ ○明中授業スタイルの確立 ○「キーワード」を基にした説明活動	
	〈取組内容〉 ○課題を引き受けさせる工夫 ・「めあて」、「課題」を導入の段階で生徒に考えさせ、目的意識をもって学びに向かう生徒の育成 ○生徒による「まとめ」、「振り返り」 ・「まとめ」を括弧にし生徒に考えさせる ・「まとめ」を班で考えさせ、それを交流して「まとめ」を考えさせる	〈家庭・地域の取組内容〉 ○家庭学習を自分で考えて実施できる生徒の育成 ・帰りの会で「今日の宿題」を確認する時間の確保 ・全職員での学習支援
	〈取組指標〉 ①「めあて」、「課題」を意識して授業に臨んだかをアンケートで確認する ②「まとめ」、「振り返り」を自ら考え、一時間の学びを意識できたかをアンケートで確認する	〈家庭・地域の取組指標〉 ①毎日ノートにその日の課題を記入しているか確認する。 ②課題を忘れた生徒に対して全職員で支援するように共通理解する。
	〈検証指標〉 ①「めあて」、「課題」を意識して授業に臨んだ生徒の割合80パーセント以上 ②「まとめ」、「振り返り」を自ら考え、一時間の学びを意識できた生徒の割合80パーセント以上	〈家庭・地域の検証指標〉 ①課題忘れの生徒3パーセント以下 ②与えられた課題に自分なりの工夫がプラスできる生徒50パーセント以上
【授業改善以外の学力向上の取組】 ■各学年の実態に応じた朝学習の充実。読書の大切さを意識させるとともに、教科の学習においても計画的に行う。 ■家庭学習に自分なりの工夫をさせ、それを次の授業に生かせるような姿勢を育む。 ■定期テスト前に、質問教室を持ち、気軽に質問できる体制を整える。また、学習の取組の自己分析をさせることで翌日の学習に生かすよう指導する。 ■「振り返りシート」やノートを活用して振り返りを行うことで、生徒の「学びに向かう力」を可視化し、次時の学習に生かすよう指導する。		